

会社概要 (2004年3月31日現在)

商号 全日本空輸株式会社
All Nippon Airways Co., Ltd.
設立 1952年12月
本社所在地 東京都港区東新橋一丁目5番2号
資本金 867億6,729万2,804円
従業員数 12,277名(出向受入社員115名を含む)

役員 (2004年6月25日現在)

取締役会長 野村 吉三郎
代表取締役社長 大橋 洋治
代表取締役副社長 執行役員 山元 峯生
戸矢 博道
大前 傑
専務取締役 執行役員 高田 正彦
常務取締役 執行役員 北林 克比古
中野 雅男
久保 小七郎
伊東 信一郎
浜田 健一郎
長瀬 眞
日出間 公敬
岡田 圭介
取締役 上山 善紀※
木村 操※
監査役 久宝 互(常勤) 梶田 邦孝(常勤)※
小野 紘一郎(常勤) 松尾 新吾※
上席執行役員 小松 勇 野本 明典
執行役員 本坊 憲吉 大西 準次
小柳 秀夫 菊池 克頼
四十物 実 伊藤 博行
牧 信介 山内 純子
森本 光雄 米里 文明
鈴木 徹 日高 誠一郎
藤井 博行 浅川 修
岩中 俊博 篠辺 修
高橋 篤郎

※取締役のうち上山 善紀および木村 操の両氏は、商法188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役です。

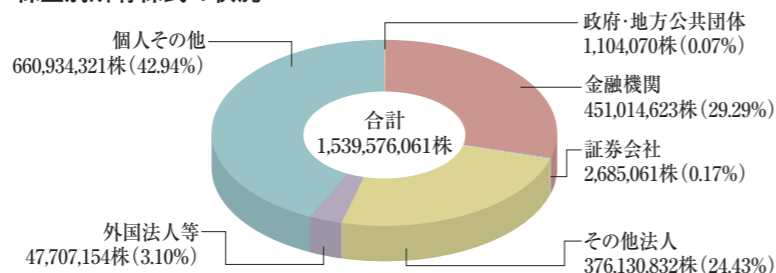
※監査役のうち梶田 邦孝および松尾 新吾の両氏は「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役です。

株式の状況 (2004年3月31日現在)

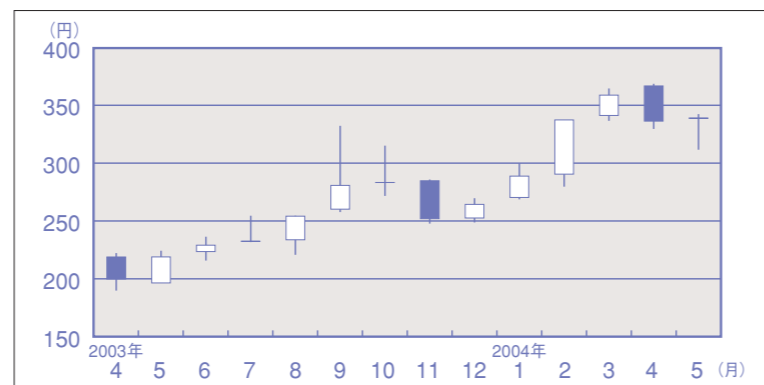
会社が発行する株式の総数 22億320万株
発行済株式総数 15億3,957万6,061株(前期末比349万3,375株増)
株主数 211,482名(前期末比14,035名増)

大株主	株主名	所有株式数	持株比率
	名古屋鉄道株式会社	71,498千株	4.64%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	43,520千株	2.83%
	三井住友海上火災保険株式会社	34,567千株	2.25%
	日本生命保険相互会社	31,656千株	2.06%
	全日空社員持株会	28,776千株	1.87%
	東京海上火災保険株式会社	27,997千株	1.82%
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	27,209千株	1.77%
	株式会社朝日新聞社	24,376千株	1.58%
	ニッセイ同和損害保険株式会社	23,011千株	1.49%
	株式会社みずほコーポレート銀行	21,980千株	1.43%

株主別所有株式の状況



株価の推移 (2003年4月~2004年5月)

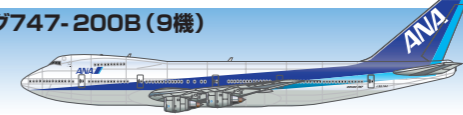


Aircraft ANAグループ 空を演出するフリート (2004年3月31日現在)

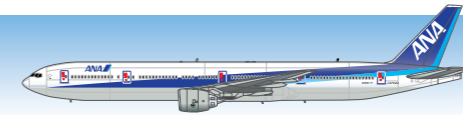
●ボーイング747-400 (23機)
全幅64.4m(-400D 59.6m)・全長70.7m・全高19.4m
航続距離12,370km(-400D 3,830km)
標準座席数323席(-400D 569席)



●ボーイング747SR/ボーイング747-200B (9機)
全幅59.6m・全長70.7m・全高19.4m
航続距離3,640km(-200B 11,700km)
標準座席数536席(-200B 456席)



●ボーイング777-300 (7機)
全幅60.9m・全長73.9m・全高18.5m
航続距離3,760km
標準座席数525席



●ボーイング777-200 (16機)
全幅60.9m・全長63.7m・全高18.5m
航続距離4,300km(-200ER 13,400km)
標準座席数382席(-200ER 234席)



●ボーイング767-300 (51機)
全幅47.6m・全長54.9m・全高15.9m
航続距離3,370km(-300ER 10,500km)
標準座席数288席(-300ER 214席)



●ボーイング767-300F (1機)
全幅47.6m・全長54.9m・全高15.9m
航続距離5,970km(最大積載時)
※貨物専用機



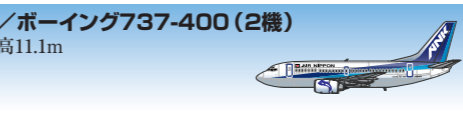
●エアバスA321-100 (7機)
全幅34.1m・全長44.5m・全高11.8m
航続距離3,150km
標準座席数195席



●エアバスA320-200 (28機)
全幅34.1m・全長37.6m・全高11.8m
航続距離2,380km
標準座席数166席



●ボーイング737-500 (25機) / ボーイング737-400 (2機)
全幅28.9m・全長31.0m(-400 36.4m)・全高11.1m
航続距離2,780km(-400 1,550km)
標準座席数126席(-400 170席)



●ボンバルディアDHC-8-300 (5機)
全幅27.4m・全長25.7m・全高7.5m
航続距離1,000km
標準座席数56席



●ボンバルディアDHC-8-400 (3機)
全幅28.4m・全長32.8m・全高8.3m
航続距離2,020km
標準座席数74席



合計180機

※リース賃借機を含みます。
※上記のほか、ボーイング767-200型2機を賃貸中。ボンバルディアDHC-6型1機を運航、合計数に含んでいます。

ドリームライナー “ボーイング 7E7シリーズ”



写真/
BOEING

快適性・経済性を追求した 次世代旅客機の導入を決定!

ANAでは中型機ボーイング767-300型機の後継機種として、経済性が高く快適性に優れた次世代中型機であるボーイング社の“7E7シリーズ”(B7E7-3型機、B7E7-8型機)合計50機の発注を決定しました。(2004年夏頃導入時期決定)

当社は世界初のB7E7型機発注エアラインとして、今後のB7E7型機の開発計画にも積極的に参画、ANAのニーズを新しい航空機に反映させてまいります。

B7E7シリーズは複合材の活用により機体の軽量化と整備コストの低減を実現。航続性能や貨物搭載能力は、B767-300型機を大きく上まわる一方、燃料消費量も大幅に改善(長距離離航で20%向上)。さらに最新技術を導入したエンジンは、有害廃棄物や二酸化炭素を低減。まさに21世紀の次世代型航空機(ドリームライナー)といえます。

また、広い胴体径は機内の快適性を向上。さらに、最新技術による機内騒音の低下や気圧調節機能、湿度コントロール機能の導入など、従来機にはない居住性・快適性を実現。B7E7型機の導入による増収やコスト削減により、B767-300型機と比較した場合、年間約100億円の収支改善の効果が期待されています。

●ボーイング7E7-3
全幅51.6m・全長55.5m・全高16.5m
航続距離2,200km
標準座席数(当社仕様案)300席(モノクラス)

●ボーイング7E7-8
全幅58.8m・全長55.5m・全高16.5m
航続距離11,000km
標準座席数(当社仕様案)230席(2クラス)